

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	リソソームでの自然免疫系と代謝系のクロストークに関わる分子細胞基盤の解明
研究代表者	三宅 健介（東京大学・医科学研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者は、これまでに TLR（Toll-like receptor：Toll 様受容体）のリガンド認識やトラフィックなどの研究分野において優れた成果を上げている。本研究は、1 本鎖 RNA（ribonucleic acid：リボ核酸）認識 TLR8 が RNA の分解産物を認識しているという発見などの独自の予備的知見に基づき、核酸認識 TLR シグナルにおける核酸のプロセッシング機構や脂質及びアミノ酸代謝とのクロストーク機構の解明を目指すものであり、先駆的で意欲的な内容である。細胞生物学的側面からのアプローチがより必要であるとも考えられるが、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>